



## 大学院統合新領域学府「ユーザー感性学専攻」(仮称)の設置計画について

### 概 要

九州大学では工学、芸術工学、人間環境学、心理学など自然・社会・人文科学を組み合わせ研究するユーザーサイエンス機構(USI)の方法を発展させるべく、知を統合する新たな大学院「統合新領域学府」を、平成21年度に設立することを計画している。統合新領域学府は、「ユーザー感性学専攻」と「オートモーティブ・サイエンス専攻」の2つの専攻からスタートさせる予定である。今回は、「ユーザー感性学専攻」の設置計画について紹介したい。

これは、九州大学が2011年に、九州帝国大学設立から100周年を迎え、百年の伝統を基盤とした「知の世紀を拓く」を目標に事業を展開しているなかで、九州大学と九州芸術工科大学の統合の特長を生かしたユーザー感性学専攻の創設は、知のフロンティアとして進化する新生九州大学を代表する構想である。

### ■ 背 景

ポスト工業化社会において「もの」に対する欲求は相対化し、かわって「こと」の魅力や「こころ」に関わる満足に社会の関心が転換、ユーザーや生活者の感性に働きかけ、共感を呼び起こしていくことが強く求められるようになってきた。これまでの大量生産・大量消費の志向、技術開発一辺倒のビジネスモデルの修正、人の心地、感覚、感動といった感性の要素を基にした感性価値の創造が、ビジネスと産業にも求められるようになってきたのである。

また、今の日本社会においては、少子高齢化、格差拡大等を背景として、家庭、地域社会、教育現場、企業、行政等の広汎な場面で、「こころ」やコミュニケーションに関する問題が急激に増えており、コミュニケーション力・共感力、構想力・俯瞰力、協働力、実践力を持つ感性豊かな人材育成が必要とされている。

そして、時代に柔軟に対応し、人間に対する理解と洞察を深め、人間に密着した価値形成と個人と社会の満足創造を推進していくことのできる人材が求められている。

### ■ 内 容

ユーザー感性学専攻では、平成16年度から20年度に至るUSIの取り組みを継承発展させ、社会の求める人材育成を推進していく。そのため、外界(ひと・もの・こと・場)に対する感受性及び感受性に基づく統合的な心の働きである感性を軸とした教育研究を行う、文理横断の新たな専攻を設置する。

新専攻には、「感性科学」、「感性コミュニケーション」、「感性価値マネジメント」という3つの教育課程(コース)を設け、ユーザーの視点と感性を基盤とした人間理解の上に立って、現代社会の直面する課題の解決、感性価値と満足の創造を推進していくことのできるプロデューサー型人材を育成していく。

教育課程の編成にあたっては、「プロジェクトチーム演習(PTL)」を重視した実践型カリキュラム、人間としての幅と見識、洞察力を身につけるための、哲学、美学、倫理学、宗教学、歴史学等、「リベラルアーツ科目」の履修推奨、大学間の共同プログラムの推進、教育を通じた大学と社会の新連携の構築など、新しい大学教育のあり方に挑戦していく。

入学定員は、社会人、留学生を含め、修士課程30名を予定。課程修了後は、企業、行政、教育、大学・研究所、NPOなど幅広い分野、職域で活躍することが期待される。

※ 詳しくは別紙参照

## ■ 効果

専門力と感性力・人間力の統合を視野に入れ、次のような力を涵養した人材を社会に送り出していく。

- ① 感性を科学的な視点を含め、多面的に捉えることのできる力
- ② 人と人・人との・人と環境のあいだの関係性を豊かにしていく方法という観点から感性を活用していくことのできる力
- ③ ユーザーの視点に立って感性価値創造のプロセスをマネジメントすることのできる力

このように、時代の求める人材を育成、輩出していくことで、感性価値に軸をおいた、21世紀にふさわしい産業の創出と、地域社会の再生に貢献していく。

## ■今後の展開

文部科学省との協議、大学設置審議会の設置審査および認可を経て、平成21年4月の設置を予定している。

なお、キャンパスは、箱崎地区を計画している。

### 【お問い合わせ】

九州大学ユーザーサイエンス機構/九州大学大学院工学研究院 教授 坂口光一

Tel : 092-642-7249 Fax 092-642-3822

E-Mail : [koho@usi.kyushu-u.ac.jp](mailto:koho@usi.kyushu-u.ac.jp)

## 大学院統合新領域学府「ユーザー感性学専攻」(仮称)の設置計画について

九州大学は2011年に、九州帝国大学設立から100周年を迎え、百年の伝統を基盤とした「知の新世紀を拓く」を目標に事業を展開しています。そのなかで、九州大学と九州芸術工科大学の統合の特長を生かしたユーザー感性学の創設は、知のフロンティアとして進化する新生九州大学を代表する構想です。

九州大学は平成16年度文部科学省科学技術振興調整費「戦略的研究拠点育成プログラム」で、ユーザーサイエンス機構(以下:USI)を設立し、知の活用主体であるユーザーの視点に立ち、技術と感性を融合してユーザーがよりよく生きることを支援する研究を行ってきました。USIは味センサー、感性材料、技術とユーザーの感性を突き合わせる感性テーブルなどを開発し、子どもプロジェクトが3回のグッドデザイン賞受賞に輝くなど多彩な成果をあげています。育成期間終了後は、研究・教育両面で、この成果を発展させる拠点づくりが求められています。

20世紀に科学は大躍進しましたが、その陰で専門分化が過度に進展し、知の交換は相互理解と交流が困難になってきました。また、人間と技術、環境問題など個別科学では解決が困難な重要課題が叢生しています。こうしたなかで21世紀は感性の世紀としてフロンティアを切り拓いていくことが期待されています。産業界においても国際競争が激しくなるなかで、これまでの品質や機能にかわる新しい価値観が求められており、日本的な感性や自然観、伝統的な美意識に対する再評価の機運が高まりつつあります。九州大学ではこのような時代の変化や流れを受け、工学、芸術工学、人間環境学、心理学など多様な自然・社会・人文科学を組み合わせ研究するUSIの方法を発展させるべく、知を統合する新たな大学院「統合新領域学府」を平成21年度に設立することを計画しています。

統合新領域学府は、まず2つの専攻からスタートさせます。ユーザー感性学専攻は、外界(ひと・もの・こと・場)に対する感受性及び感受性に基づく統合的な心の働きである感性について、その感覚的・感情的・直感的・創造的という特性に注目して、USIを継承発展した研究と教育を行います。もうひとつのオートモーティブ・サイエンス専攻は、自動車を対象に技術、人間、社会の統合的な知を探求し、産業界を中心に高度な専門人材を育成します。両専攻は、いずれも現代の社会や科学に問われている現実の課題から出発し、単独での研究活動では解決できないこれらの課題に文理横断的な知の統合で取り組むものです。

ユーザー感性学専攻設置の背景は、

- (1) ポスト工業化社会において「もの」に対する欲求は相対化し、かわって「こと」の魅力や「こころ」に関わる満足に社会の関心が転換、ユーザーや生活者の感性に働きかけ、感動や共感を呼び起こしていくことが強く求められるようになったこと

- (2) 今の日本社会においては、少子高齢化、格差拡大等を背景として、家庭、地域社会、教育現場、企業、行政等の広汎な場面で、いじめ、自殺・犯罪の多発、引きこもり、「うつ」等の「こころ」やコミュニケーションに関する問題が急激に増えており、コミュニケーション力・共感力、構想力・俯瞰力、協働力等を持つ感性豊かな人材育成が必要とされていること
- (3) 禅や茶、アニメなどの日本文化の基盤にある日本の感性の持つ力や日本文化の持つ魅力や可能性について、国内外から注目が集まっており、日本がグローバル社会において存在感と影響力を維持し行使していく上で、欠かせなくなっていること
- (4) 急速な人口減社会を迎え、団塊の世代の大量退職がはじまった現在、日本の伝統的な感性の伝承が難しくなっていること

このような時代に対応し、人間そのものへの理解を深め、人間に密着した価値形成と個人と社会の満足創造を推進していくことのできる人材が求められています。

「統合新領域学府」と呼ぶ所以は、従来の学問の縦割りにそった学府専攻の枠組みでは捉えることが難しい、複合的かつ根源的な課題に取り組み、その知的成果を社会に還元するとともに、自らそのような知の担い手として活躍する高度な専門人材の養成を目指すことです。

具体的には、

- ① 感性を科学的な視点から捉えることのできる力
- ② 人と人・人との・人と環境のあいだの関係性を豊かにしていく方法という観点から感性を活用していくことのできる力
- ③ ユーザーの視点に立って感性価値創造のプロセスをマネジメントすることのできる力

このような力を持ち、21世紀をリードしていく人材を育成するため、それぞれの能力涵養に対応した「感性科学」、「感性コミュニケーション」、「感性価値マネジメント」の3つの教育課程（コース）を設けます。修士課程定員30名で、卒業生は研究所、企業、行政、NPOなどで活躍することが期待されます。

ユーザー感性学専攻の詳細の問い合わせ先は以下のとおりです。

九州大学ユーザーサイエンス機構/九州大学大学院 工学研究院 教授 坂口 光一

Tel : 092-642-7249 Fax: 092-642-3822

E-Mail : [koho@usi.kyushu-u.ac.jp](mailto:koho@usi.kyushu-u.ac.jp)

九州大学のこれらの活動に各位のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

新大学院  
統合新領域学府ユーザー感性学専攻  
設置計画について



**User Science Institute**  
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学ユーザーサイエンス機構

## 統合新領域学府

ユーザー感性学専攻

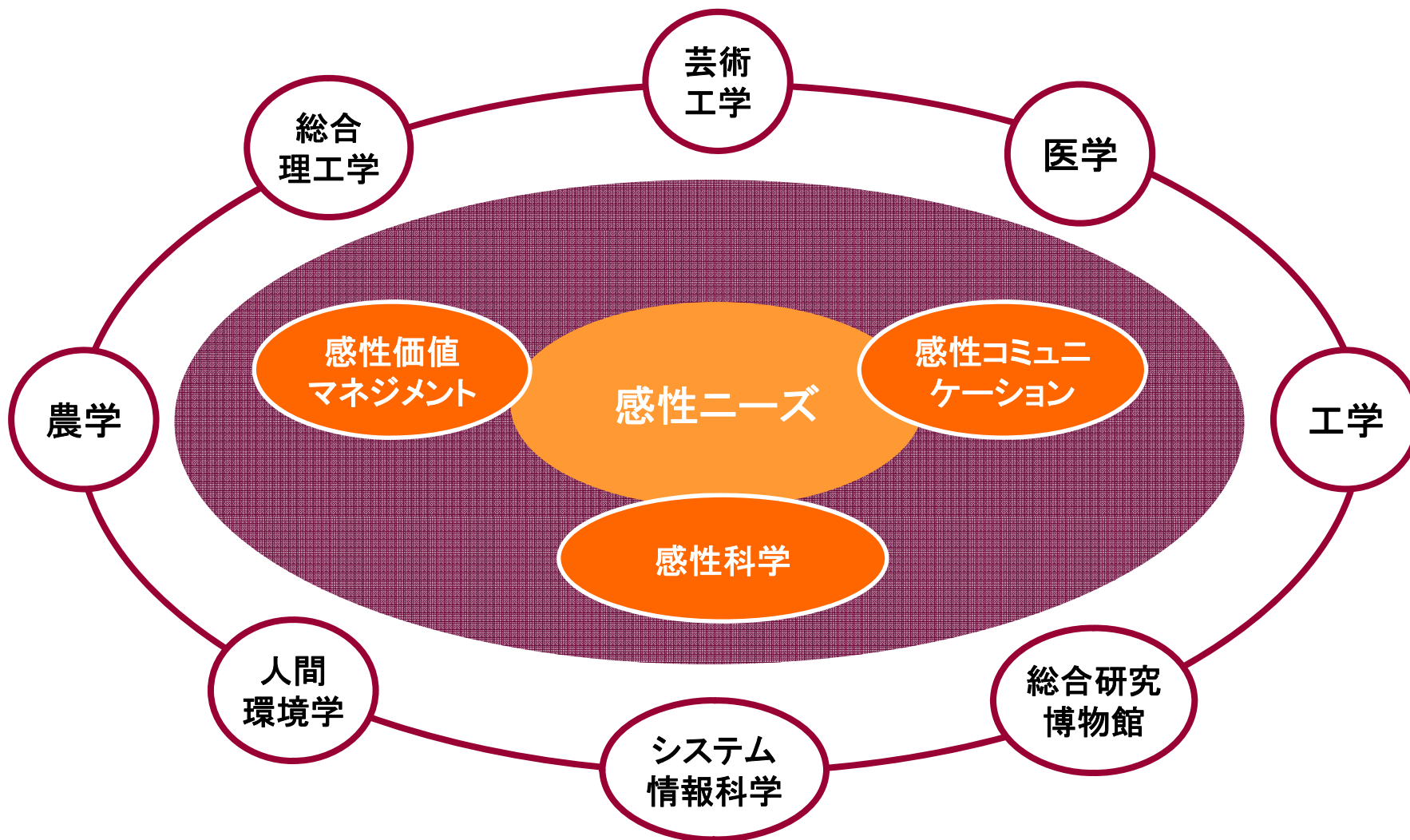
オートモーティブ  
サイエンス専攻

知の統合と連携

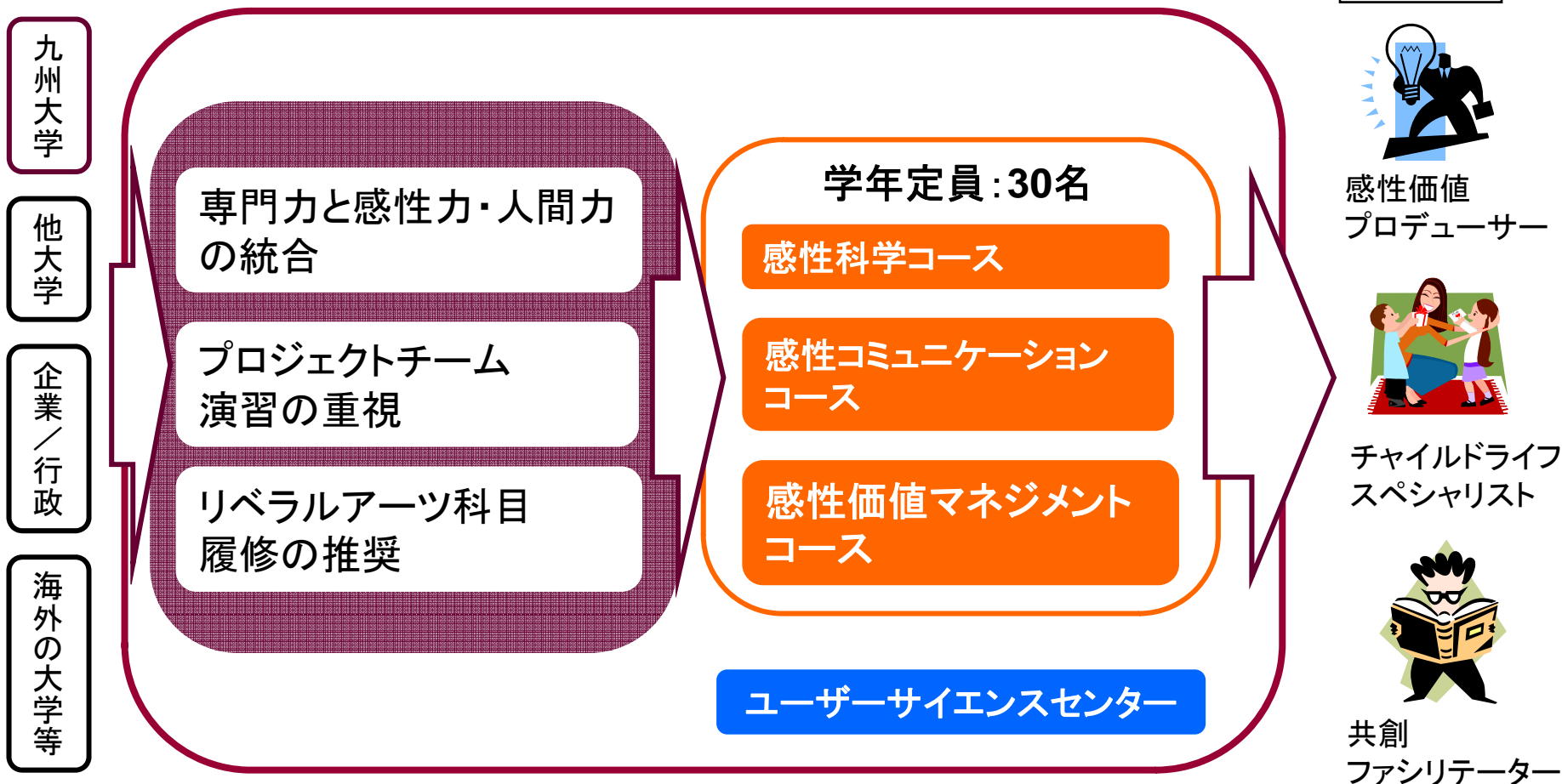
新領域の問題解決

新たな知の創造と  
高度な専門人材育成

# 学内連携による教育研究改革の推進



# ユーザー感性学専攻の構成





# ユーザーサイエンスセンターの役割



## 実践教育プログラムの開発と 産学官連携の推進

